

3 きょうどを開く

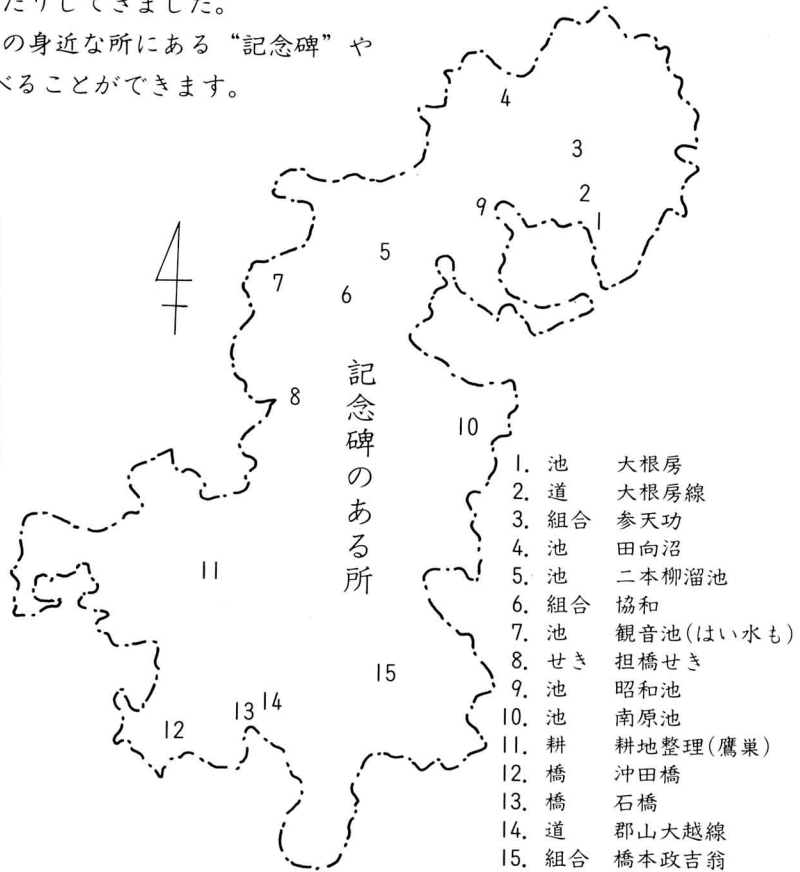
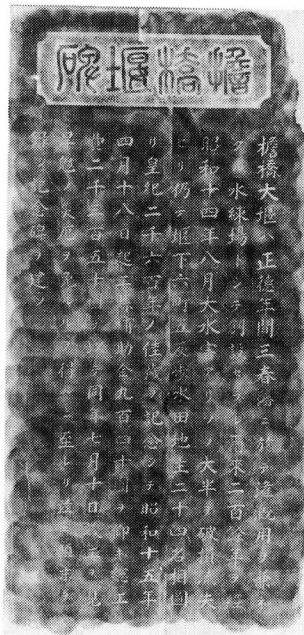
1. むかしのようす

(2) 記念碑

三春町には、安積そ水とくらべられるような大きな工事は見当たりません。しかし、米を少しでも多くとろうと、ため池やせきをつくったり、耕地整理やはい水をしました。

たばこやまゆを多くとるために努力したり、生産を高め生活をよくするために組合をつくったり、道路を通したりしてきました。

それらは、みなさんの身近な所にある“記念碑”や“顕彰碑”などで調べることができます。



担橋大堰は江戸時代、三春藩が、かんがい用をかね水泳練習場としてつくった。二百年あまりたった昭和十四年の水害で大部分がこわれてしまったので、堰下六百五十アールの水田の地主二十四名が相談し昭和十五年四月に工事を始め七月に完成した。